

講義名	日本語D (話す)	授業形態	
担当教員	Gehrtz 三隅 友子	開講期・曜日・時間	前期 水曜日 2時限
		単位数	2
		履修開始年次	2年生
		ナンバリング・コード	JPN201

主題と概要
 留学生に必要な日本語の「話す」に焦点を当て、特に「日本の食」に関して学習を進めながら、受講学生のそれぞれの食文化についても考えることを行う。食をテーマに「会話」以外に「読む」「調べる」「意見を述べる・意見を聞く」といった多様な活動を含んだプロジェクトワークである。教室という場で、日本語を使いながら食文化(社会)の理解を深め、人とのつながりを大切にし、自分の意見を発信そして互いに共有することを目指す。教室外では食を通して、健康な身体を保つための食生活を自ら考えることを促す。さらに、SDGsの社会課題との関わりも提示する。(CEFR指標A2-B1)

到達目標
 ・毎日の自身の食生活で接する日本語(素材、調理方法、料理名、食文化)を理解し、その言葉を会話や作文の中で使うことができるようになる。
 ・自らの食文化と日本または他の食文化の違いを認識することから、より深い多文化共生の意義を考えることができるようになる。
 ・食を通して様々な人とのつながりのあり方、人との付き合いの方法を知ることができるようになる。
 ・日常生活の食を通して、様々な学習教材と学習方法を知り、今後の日本語学習に活用することができるようになる。

提出課題
 食に関する写真と文章を入れたミニレポートを作成する(テーマ・私の好きな日本の食べ物・私が苦手な日本の食べ物・私の嫁のおすすめの食べ物等)。
 食に関するミニ発表(パワーポイントを使用した)の内容)を行う。
 食に関する最終レポート及び発表を行う。一人3分程度、録画したものをYouTubeにて限定公開でアップし、視聴する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法
 ・課題 に関しては教室内で発表 学生同士・教師による評価。
 ・課題 に関しては、教室内での発表後、学生同士・教師による評価、さらにYouTube視聴による自己評価を行う。

評価の基準
 ・ミニレポート 4回60% ・最終レポート発表 40%

履修にあたっての注意・助言他
 ・「食文化」をテーマとする。「食」に興味のある人、「食べること」「作ること」「知ること」健康、観光、経営に関する、食に興味のある人が望ましい。また日本で食に対して日頃考えていることがある人にも受講を勧める。

教科書	「食で考える日本社会」	プレヒューメ裕子他	くろしお出版	2200	9784874249444
-----	-------------	-----------	--------	------	---------------

参考図書
 ・なし。

その他
 参考WEB
 ・https://www.9640.jp/books_944/ テキストのWebページ
 ・https://www.nsouzai-kyoukai.or.jp/homenealmeister/ 日本惣菜協会「食の教科書」

授業計画
 第1回 授業計画とシラバス確認・自己紹介
 予習内容：シラバスの確認、教科書とWebサイトの閲覧。第1章のセクション1「和食とわたし」を聞いてメモを作成すること。単語リストの確認。(90分) この1週間食べた和食の写真1枚をキャンパスクロス(以下Oと表記)にアップすること。(30分)
 復習内容：提出した「和食とわたし」のメモと写真を使ってA4一枚の用紙に発表シートを作成してOにアップする。(120分)
 第2回 第1章「食べよう和食」
 授業：テキストの読み確認 質疑応答 ・写真を使ったshow & tell・セクション2「和食は食卓から姿を消すのか」読解。
 復習内容：「和食とわたし」の読み確認。単語テスト予復、show & tellの発表メモと自己評価を作成すること。(120分)
 予習内容：調べ活動 日本ではどのような料理が人気かをインタビュー調査 調べ活動 日本と私の国の料理を組み合わせた一汁三菜メニューを作成すること。(タスクシートの提出)(120分)
 第3回 第1章「食べよう和食」
 授業：テキストセクション2「和食は食卓から姿を消すのか」の内容確認。調べ活動の報告。単語テスト。「講義いただきますとご馳走様の意味」
 復習 予習内容：「和食はなれ」に関してミニレポートを作成すること。(120分)
 第4回 第3章「食と歴史」
 授業：「和食はなれ」ミニレポートの確認と発表。
 復習内容：レポートと発表の自己評価(メモを作って提出)をすること。(120分)
 予習内容：第3章「食と歴史」セクション1「江戸時代のファストフード」を聞いてメモを作成すること。単語リストの確認をすること。(90分)私の好きな食の店の写真1枚をOにアップすること。(30分)
 第5回 第3章「食と歴史」
 授業：「テキストの読み確認と質疑応答」・写真を使ったshow & tell・セクション2「明治時代の和製洋食」読解。
 復習内容：「食と歴史」の読み確認。単語テスト予復、show & tellの発表メモと自己評価を作成すること。(120分)
 予習内容：調べ活動 和食の店の写真を撮影、Oにアップ。調べ活動 江戸時代の食生活について 現代社会の経済格差と食生活の差について(三つのうち一つを選んで)タスクシートを提出すること。(120分)
 第6回 第3章「食と歴史」
 授業：「食の歴史」内容確認。単語テスト。和食の店の show & tell。「和製洋食の作り方の紹介」。
 復習内容：「食と歴史」内容確認。show & tellの自己評価メモを作成すること。(120分)
 予習内容：ミニレポート「食文化を体験して自分の文化を意図したことがあったか」「自分の国で外から来た食べ物を受け入れられたか」のどちらかを選んで案例と考えを300字内でまとめて、Oにアップすることさらに「好きな種類」の写真を一枚Oにアップすること。(120分)
 第7回 第4章「食とグローバル化」
 授業：ミニレポートの発表、相互評価。第4章「食とグローバル化」セクション1「人類は雑食」の読解。内容確認。各自の種のshow & tell。
 復習内容：セクション1「人類は雑食」の内容を再度確認すること。(80分)
 予習内容：「食とグローバル」内容を再確認すること。単語テストを振り取り確認すること。好きなスシの写真をOにアップすること。(180分)
 第8回 第4章「食とグローバル化」
 授業：「スシ・ボリス」内容確認。好きなスシに関してshow & tell。単語テスト。
 復習内容：「食とグローバル」内容を再確認すること。単語テストを振り取り確認すること。好きなスシのshow & tellの自己評価メモを作成すること。(40分)
 予習内容：「自分の国の食材を寄せてハイドリッド寿司」(寿司の名前、食材、選んだ食材と自分の文化背景の紹介、作り方)を作成すること。タスクシートに記入してOにアップすること。(200分)
 第9回 第4章「食とグローバル化」
 授業：ミニ発表。寿司の歴史について、ハイドリッド寿司の発表。
 復習内容：各自のハイドリッド寿司の紹介を400字の原稿にすること。(120分)
 予習内容：調べ学習、好きなアニメと映画から食事のシーンを一枚取り出すこと。タスクシートに記入してOにアップすること。(120分)
 第10回 第5章「食とメディア」
 授業：「どなるのトトロ」・「深夜食堂」・「美味しんぼ」等の一部を視聴、解説と意見交換。
 「食とアニメ・マンガ」「食とドラマ・映画」の紹介。
 復習内容：「食とメディア」作品。テキストを眺めし内容を再確認すること。単語を確認すること。(40分)
 予習内容：映画あるいはアニメ・授業時にYouTubeで見られる作品を紹介)を視聴し、感想をシートに書いてOに提出すること。(200分)
 第11回 第5章「食とメディア」
 授業：映画 アニメ等の感想。わからなかったことの確認と「食」を提供する人と受け取る人との関係についての意見交換。
 復習内容：これまでの四つの章の文章を聞いて、読んで内容を再確認すること。(120分)
 予習内容：確認した文章から興味のあるテーマを選ぶ(なぜ選んだかをも考える)こと。(120分)
 第12回 第5章「食とメディア」
 授業：単語テスト、ミニレポートへ向けての調整：読んだテキストから興味のあるものの発表、発表方法の提示。
 復習内容：レポートのテーマを考えて、テーマのみをOにアップすること。単語リストを確認すること。(120分)
 予習内容：第8章「食と健康」セクション1「長寿と発酵食品」を聞いて内容のメモを作成すること。(120分)
 第13回 第8章「食と健康」
 授業：「長寿と発酵食品」の内容確認。「健康と食」に関して意見交換。最終レポートの意見交換。
 復習内容 予習内容「食と健康」の発表と発表準備をすること。(240分)
 第14回 第8章「食と健康」
 授業：パワーポイントを使った一人3分-5分の発表(質疑応答を含む)。YouTube動画に作成する。
 復習 予習内容 動画視聴し各自の自己評価表を作成してOに提出すること。(240分)
 第15回 第8章「食と健康」
 授業：発表動画(YouTube)の視聴。この授業から学んだことの意見交換。SDGsとの関連の確認。

授業形態(アクティブ・ラーニング)			
ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)		
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク		
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク		
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)			

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・食文化を通して「他者との意見の違いや立場の違いを理解し、協力して物事を進めることができる」さらに、「他者との間に信頼し合う関係を築くことができる」を、目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
 ・プロジェクトワーク型の授業を行う。
 ・最終プロダクト(産出物)を発表原稿と動画とする。そのためにさまざまな素材(人的、物的、社会的リソース)から情報を収集し、教師によるファシリテーションによって自らの学びを進めていく。授業形態は学習者がより自主的に学ぶ、学習者同士が協力し異文化を体験する教室が多くを占め、現地の社会から学ぶ。
 ・ICT活用に関しては、動画作成し成果を学習者が閲覧できるようにYouTubeを利用する。
 ・使用教材が上級向けのため、AIを活用して翻訳した言語を参考資料として使う予定である。

実務経験の有無及び活用

備考